

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 裕]

事業プロフィール

【 事業概要 】

事業名	主要地方道玉名立花線(長小田工区) 地域道路改築事業
事業箇所	玉名郡和水町長小田地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (県道班 内線53345)
事業期間	令和5年度～令和12年度 (8年間)
総事業費	500百万円(うち県費233百万円)
事業内容	延長1,000m、バイパス整備
事業目的	<p>玉名立花線は、国道208号を起点とし、福岡県立花町の国道3号を終点とする主要地方道である。本路線は、九州新幹線新玉名駅へのアクセス機能を持つ道路であり、玉名市・和水町・山鹿市等の交流促進・連携強化の役割を持ち、本地域の産業経済や生活基盤を支える幹線道路である。</p> <p>本工区の現道は幅員が狭く、離合も困難な状況であり、集落内を通過するため歩行者等の通行にも支障をきたしている。このため、バイパスによる道路整備を行い、交通の円滑化、安全性の向上と地域活性化を図るものである。</p>

【 現況写真 】



(現道の状況)

現道は幅員が狭く、離合も困難な状況であり、集落内を通過するため歩行者等の通行にも支障をきたしている。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	本箇所を整備することにより、車両交通の円滑化、歩行者の安全性向上が図られる。
事業比較 （事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容（ソフト対策も含む））	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施しない場合、車両の離合困難箇所が残存することになり、一般車両及び緊急車両等の円滑な通行及び歩行者の安全が確保できない。 ・道路改良計画については、施工性及び経済性に優れたバイパス案とした。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	土壌汚染対策法第4条第1項に基づく届出が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	無し
市町村、地元の状況	関係市町村から早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	今後、地元説明会の開催を予定。

【 環境影響 】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	0
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	0
必要性	③ 特定地域振興	5	0
	④ 公共施設へのアクセス向上	20	20
	⑤ 生活利便施設へのアクセス向上	15	15
	⑥ 救急施設等へのアクセス向上	5	5
	⑦ 渋滞対策または公共交通等の充実	5	5
	小計	50	45
緊急性	⑧ 安全性の向上	25	20
	⑨ 歩行の安全性の向上	5	5
	⑩ 連携する他事業	5	0
	小計	35	25
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	5	5
	小計	5	5
合計		100	75